

# 道連ニュース

2013年新春号 No.78

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

## 新年のご挨拶 社会の大きな転換期を迎えて 会長理事 麻田信二



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年末には、衆議院選挙が行われ、低投票率の中で、自由民主党が多数の議席を得て政権に復帰しました。少数の有権者の支持であっても、過半数の議席を得るといふ民意を反しえない制度になっているのが日本の現状です。

今回は、一票の格差が是正されない違法な制度のままの選挙でしたので、近い将来再び選挙が行われる可能性があります。政治の良し悪しは選ぶ私たち国

民一人ひとりの責任です。

去年は国連が定めた国際協同組合年でさまざまな取り組みが行われましたが、国際的にみても社会の大きな転換期にあり、生協運動が未来に希望を灯す鍵を握っていると考えています。

日本が平和国家として世界から尊敬されながら発展していくためには、国民一人一人が自主自立の精神を持って、協同組合精神の原点に立脚しながら自ら考え行動することが求められています。

北海道生協連に集う皆様方それぞれの生協運動のさらなる前進とより良き一年となることを心から祈念しております。

## 大学生協の「二重」加盟問題は存在しません ～道連活動見直し検討委員会・中間報告～

第3回検討委員会が全メンバー参加のもと12月19日に開催されました。道内での大学生協関係の連携の現状紹介や、事業連合（12大学）のうちの当会会員9大学への経過説明や大学生協連道ブロック（13大学）の大会傍聴などの報告を含め議論されました。当会の事業目的に鑑みた加入・脱退の自由が大前提であり、「自動脱退」的なスキームとしての枠組み問題は存在しないとの認識で1月理事会への中間報告となりました。

当該委員会の2011年12月中間報告時点でのコメントに不足があり、誤解を招く要因となりました。

委員会は会員アンケートなどの実施を踏まえ、「道連活動の機能と財政問題」のテーマに重点を移して検討が継続されることとなります。（メンバーは委員長：河原さつぼろ高齢者福祉生協理事長、委員：福田さつぼろ常務・中司全労済審議役・佐藤事業連合常務・滝澤労福協事務局の方々です）

## 「市民後見人」学習会に13団体50人参加！

12月12日に開催しました市民後見人学習会には、前日からの大雪にもかかわらず、50名の方々の参加があり、この問題への関心の高まりを感じる事が出来ました。

お話は、北星学園大学教授の杉岡直人先生より、90分に渡って、市民後見人とはの基礎知識に始まり、市民後見制度を必要とする背景と課題、最後に生活協同組合にとっての市民後見人問題についての提言まで、お話を頂きました。

参加者よりアンケートを取りました。主な声は、内容と取り組みの必要性・意義についてはよく理解できました。また取り組みは裾野が広く奥も深いので結構

ハードルは高そうと不安の声、生協らしく積極的に取り組むべき課題とのご意見が寄せられました。

閉会の挨拶に立った、コープさつぼろ山口専務から、今後の活動として「市民後見人養成講座の開催（2013年4・5月スタート目標）」と市民後見人活動センター構想を調査・検討するプロジェクトの発足（2013年春を目処に）などの提起が行われ会は閉会しました。



## 組合員手作りニュースコンテスト決定!!

「2012年度組合員手作りニュースコンテスト」が行われ、10生協 52作品の応募がありました。コープさつぼろ札幌西地区委員会が優秀賞、コー

プさつぼろ釧路地区委員会が入選、北海道医療生協清田支部が特別参加賞を受賞しました。

## 生活クラブ30周年記念式典

創立30周年を迎えるにあたり、これまで私たちの運動と事業を支えてきていただいた生産者をはじめ関係する多くの方々の出席のもと記念祝賀会を開催しました。

来賓を代表し3名の方々から祝辞をいただいた後、北海道生協連会長理事の乾杯で祝宴となりました。祝宴中、はじめの頃からこれまで続けてきた活動の一部をスライドを使って紹介させていただきました。



組合員だけでなく地域の人たちに活動を知ってもらい、毎年開催する生産者交流会、消費生活を自治することにつながる一ヶ月前の予約共同購入、消費材の

情報交換、拡大・利用結集など運営について話し合う班会・地区会、核と人類は共存できないという考えのもの

と進めてきた脱原発運動などです。また、歴代専務理事から創立からこれまでの運動や事業の考え方を聞き、歴史と現状をあらためて確認しました。30周年記念誌を作成しましたので読んでいただけたら幸いです。

これからも運動と事業を進める上で大切なものは何か、変えるべきこと、そして変えてはいけないことは何かを常に考えながら、自ら考え行動する人々を育み、協同組合の社会的役割をふまえて運動そして事業を進めてまいります。



## フリエ月寒ホールオープン

11月20日(火)直営の斎場「フリエホールつきさむ」を札幌市豊平区にオープン致しました。

96年から葬儀の斡旋事業を行ってきましたが、組合員のサービス向上のため葬儀事業の直営化を決め、札幌地区における直営ホールの開業準備を進めてきたものです。特徴は、家族葬を中心に9ホールを備えていることと、ホール内厨房で出来立ての料理を提供すること。ホールは10人未満のミニホールから150人まで収容可能な大ホールまで、様々なニーズに応えるようにしたこと。小～大ホールのすべてにリビングや和室、ベッドルームなどが併設され、遠方からきた人が宿泊できるツインルームも3室あります。

料理にも力を入れ、コーディネータを招き豊富なメニューを揃えており、ホテルの元料理長が出来立ての料理を提供、スイーツなどのオプションメニューもあります。

価格は20万から165万円までの7プランを用意。30万円までのプランを除き、食事、会葬品、納棺など通

常別料金になる部分をすべて含み、プランに何が含まれ、いくらかかるかわかりやすい料金体系にしたのも特徴です。現在、組合員への周知を兼ね、友引にあわせた見学会を実施中です。見学した組合員からは「思っていた以上に設備もきれいで広くてびっくりしました。」「ひざ掛けなど気配りが感じられるサービスや明瞭な料金なので利用したいと思いました」など声が寄せられています。



### お知らせ

## 役員・幹部職員研修会及び税務経理・監事講習会のご案内

日時 2013年2月1日(金)午前10時～午後3時  
会場 全労済北海道会館 2F会議室(札幌市白石区菊水3条4丁目1-3)  
参加費 1500円 ※資料・昼食代として  
(内容)

- ①役員・幹部職員研修会 午前10時～12時15分  
「生協法見直しと会計」講師 三宅充氏・石川雅之氏(日生協会員支援本部)
- ②税務経理講習会 午前10時～12時15分  
「税務と経理の諸問題」講師 江藤俊哉氏(日生協会員支援本部)
- ③監事講習会 午前10時～12時15分  
「監事監査基準モデル改訂」講師 広田正春氏(コープさっぽろ常勤監事)
- ④全体会 午後1時～3時  
「生協会計のあり方に関する考え方」講師 東登氏(コープさっぽろ管理部長)と、三宅充氏・石川雅之氏・江藤俊哉氏・広田正春氏